



ONE HEART

NEWSLETTER
UNESCO
ASSOCIATED
SCHOOL
♀ ESD

VOL. 07



ESD CHILDREN'S FORUM

vol. 07 ESD子どもフォーラム

L'AVENIR DÉPEND DES ENFANTS

2013年12月23日に名古屋国際会議場で行われた「ESD子どもフォーラム」に、現2GAの神谷勇成君、池戸沙莉奈さん、矢野愛実さんの3人が参加しました。このフォーラムは、2014年11月に愛知県名古屋市で開催される「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議」にあわせて開催予定の「子ども会議」の一環として行われました。

フォーラムでは、8月から12月にかけてテーマ別（環境・国際理解・防災）に行ったエクスカーションやグループディスカッションの成果と各学校でのESDの取り組みを発表しました。神谷君と池戸さんは環境コースに、矢野さんは小学生のグループのまとめ役として国際理解コースに参加しました。学校の活動発表はポスターセッション形式で行われ、活発な質疑応答も行われました。全体の成果発表では、各グループが夏からの活動を通して考えた持続可能な未来に向けてできることが提言されました。

vol. 07ではESD子どもフォーラムに参加した3名のロングインタビューの一部を掲載します。

au bout du monde où il pleut toujours

-8月から約4ヶ月の準備期間を経て、12月23日に子どもフォーラムがありました。参加してみて感じたことを教えてください。

Kamiya 様々な活動を通して、小学生から高校生まで他校の人と交流できたことがまず楽しかったです。フォーラムの後も連絡をとったりしていますね。

Ikédo 世界のこと、環境のことなどをこれほどしっかり考えたのは初めてだったと思います。身近なことをあまりにも知らなかったと改めて思いました。他校の発表からも学ぶことが多かったです。

Yano 自分にはない視点の発見が多かったので非常に有意義でした。

-池戸さんと神谷君は環境コースへの参加でしたね。実際に海で活動した後にディスカッションという流れでしたが、どのようなことを考えながら活動していたのでしょうか？

Ikédo 蒲郡の竹島周辺の海に暮らす生物を実際に探すところから始まりました。私は干潟に行くのは初めてで、海の生物を探すことは新鮮な体験でした。ただ、実際にはうまく魚が見つけれなくて苦労しました。

Kamiya そうですね。事前学習でも蒲郡に住む魚を少し学習したのですが、生命の海科学館の方々が説明してくれたほどは魚が見つかりませんでした。

Ikédo 海での活動の後に、グループごとに活動をしましたが、その間にアサリの浄化実験を行っていただきました。濁った水槽にアサリを入れて、時間をおくと、水の濁りがなくなっていたのは印象的でした。

Kamiya 確かに。あれほど小さなアサリが地球全体を綺麗にしてくれているのは驚きでした。

-矢野さんは小学生グループのコーディネーターという役割で国際理解コースに参加されましたが、小学生との活動はどうでしたか？

Yano 小学生は積極的で、高校生の私たちが思いつかないようなアイデアもたくさんだったので驚きました。国際理解コースでは、リトルワールドを訪れました。そこでは、文化の違いを体感しましたが、小学生はそういった感覚が私たちよりもかなり鋭かった気がします。ディスカッションやまとめを行っている時も、一歩踏み込んで物事を見ようとしていました。私たちのグループはフランスをテーマにしました。フランスという国のイメージを私たちに膨らましていたのですが、そういうステレオタイプと実際の状況の差がかなり大きかったので国際理解とはどういうことなのかを深く考えさせられました。

-高校だけでなく、小学校や中学校の発表もありました。他の学校の取り組みをきいてみてどうでしたか？

Ikédo 他の学校の発表で印象的だったのは、活動がそれぞれの地域に深く関わっているということです。特に伝統とか文化とかですね。

Yano そうですね。他校の取り組みをきいて、私たちの活動を含め、多くのことにつながりが具体的に見えたように思います。

-今年ESDに関するユネスコ世界会議もあります。今回の経験から、未来に向けてどのようなことに継続的に取り組んでいきたいと考えていますか？

Ikédo 自分のできることをコツコツと継続していきたいです。それが様々なところに関わっているということがわかったので。

Kamiya 自分の地域を見ることはもちろんですが、外の世界を実際に見てみることも大切だと思いました。そういう経験によって、いろいろな可能性も広がると思いますし

Yano ESDという一般的なにはまだ認知度が低いと思います。内部も含めて、活動をもう少し発展的に広げて行けたらと思います。

-他に何かあればお願いします。

Kamiya 例えば、環境問題など、さまざまな問題についてよく耳にしますが、ただ受動的にその情報を取り入れるのではなく、自分なりに現地の状況だとか、その原因だとかを考え、行動に移していきたいです。

Yano 国と国の関係性も難しい問題だと思います。戦争や領土問題…世界は一つなのになかなか手を取り合えない。

Ikédo みんなが一つの問題に対して、他の国の立場にも立って考えることができるようになったらと思っています。どうすればそれを実現できるかは今後も考えていかなければならない課題ですね。